

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 武蔵野児童学園

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

職員の資質向上のための研修

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

近年増加の一途にある児童虐待等の問題に関わる高度な実践力を有する指導者等の養成を目指して研修事業を行っている「子どもの虹情報研修センター」(日本虐待・思春期問題情報研修センター)の各研修に参加して、職員のスキル向上に努めたい。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

研修名	期日	参加人数
・性暴力への実際的対応	5月(1泊2日)	1名
・職員指導者研修	10月(3泊4日)	3名
・指導者合同研修	12月(2泊3日)	3名
・心理担当職員研修	12月(2泊3日)	1名
・児相・児童福祉施設職員合同研修	2月(2泊3日)	1名

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

児童養護施設の職員にとって必要なスキルを身につけるための研修は、講義だけでなく、事例検討、グループワーク、ロールプレー等を通じて、自ら考え、発言する機会を持ち、人前で発表する体験を含めた研修に参加してもらいました。そして、参加後には職員会議等で報告会を行い、すこしでも多くの職員に知り得た知識、スキルを共有することができました。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

各研修は、事例検討を中心にグループワークを行い、様々な意見が聞け、各地の施設職員との交流ができ、また多くの支援方法を学ぶことができた有意義な研修でした。参加した職員はケースカンファレンスのすすめ方、記録、報告等の方法を理解していました。

職員会議での報告会は、発表内容が豊富だが時間的に多くとれないので、要点をしぼって報告してもらいました。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし